

齋藤浩二先生がAMEDの研究費を獲得！



(課題名)

日本医療研究開発機構(AMED)ウイルス等感染症対策技術開発事業 (基礎研究支援)
COVID-19感染重症患者における凝固異常の病態解明と早期治療戦略の構築

研究代表者：齋藤浩二

研究分担者：山内正憲，武井祐介，岩崎夢大，杉野繁一，小川覚(京都府立医科大学麻醉科)

東北大学麻醉科・東北大学病院集中治療部長の齋藤浩二先生が日本医療研究開発機構(AMED)の大型の研究グラントを獲得されました。齋藤浩二教授は宮城県のCOVID-19重症患者の治療を担う中心的医師の1人です。本研究を通じて、東北大学病院集中治療部・東北大学麻醉科はCOVID-19診療の革新に挑戦し、COVID-19に苦しむ社会に貢献することを目指します。

本グラントはCOVID-19の感染拡大を受けて、その社会的緊急性を鑑みた政府が補正予算を成立させたうえで、本邦の研究者・企業に大々的に研究課題の募集を行った事業です。令和2年は武井祐介助教と岩崎夢大大学院生が、プロジェクトを牽引します。また京都府立医科大学麻醉科、札幌医科大学救急部や全国の急性期病院と協力して、研究を進めて参ります。どうか本研究の発展にご期待ください。